

# 男子ホッケー日本代表チーム ワールドリーグ ラウンド2

日付	2015年1月18日 17:30~18:50		
場所	シンガポール	天候	晴れ
試合	第2戦	通算結果	日本 1勝1敗

## RESULT

Country

日本  
JAPAN

Final

2 - 3

Third Period

1 - 1

Half-time

1 - 0

First Period

0 - 0

Country

ポーランド  
POLAND

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
10	2	佐々木拓郎			
✓	3	粥川幸司			
5	6	三谷元騎			
✓	7	小野知則(C)			
✓	8	北里謙治			
5	9	藤本一平	22		
✓	15	山下学			
✓	18	膳棚大剛			
✓	19	田中健太			
✓	20	川上良平			
	21	草野大介			
✓	22	宮崎俊哉			
3	24	近藤辰徳			
✓	26	村田和麻			
5	28	星卓			
✓	29	山部晃嗣			
	30	吉川貴史			
✓	31	新本優			
Coach		姜建旭			
Manager		坂口顕			
UMPIRE		CHEN Dekang (CHN)			

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
✓	1	MATUSZAK Arkadiusz (GK)			
✓	2	BROZEK Arkadiusz			
5	4	RACINIEWSKI Michal			
✓	7	GÓRNY Tomasz	40		
✓	10	WEIDE Philipp			
6	11	HULBOJ Mateusz			
	12	PACANOWSKI Maciej (GK)			
✓	13	WACHOWIAK Tomasz	38		
✓	14	ZYWICZKA Bartosz			
7	16	CHWALISZ Adam			
✓	17	MAKOWSKI Krystian			
✓	22	MAJCHRZAK Karol			
4	23	KOZLOWSKI Piotr			
7	25	KROKOSZ Adrian			
✓	27	BRATKOWSKI Pawel (C)			
5	28	WEJEZOWSKI Maciej			
✓	29	POLTASZEWSKI Michal		44	
✓	30	POLTASZEWSKI Mateusz			
Coach		JOSKOWIAK Jerzy			
Manager		CICHY Tomasz			
UMPIRE		NEWMAN Zeke (AUS)			

Team	Minute	Name	Action	Score
JPN	17	北里謙治	PC	1-0
JPN	34	山部晃嗣	PC	2-0
POL	43	BRATKOWSKI Pawel	PC	2-1

Team	Minute	Name	Action	Score
POL	48	MAKOWSKI Krystian	FG	2-2
POL	54	MAKOWSKI Krystian	PS	2-3

ワールドリーグラウンド2第2戦目は世界ランキング18位のポーランドと対戦した。日本は前試合のバングラデシュ戦と同じ先発メンバーで臨んだ。  
 (第1クォーター)  
 試合は立ち上がりポーランドが主導権を握る。日本はミスが多く、ボールポゼッションを高めることができず、苦しい時間帯が続くが、PC以外には決定的なチャンスを与えない。  
 (第2クォーター)  
 17分に日本は中盤からライトのサークル手前でボールを受けた田中が、中央へのドリブルからPCを取得。これを北里がGKの股下を抜くドラッグフリックシュートを決め、日本は先制点を奪う。その後、両チーム共にいくつかのチャンスを作るが、得点を奪うには至らず、前半1-0のリードで日本は折り返す。  
 (第3クォーター)  
 34分日本は粥川のロングスクープの処理を誤ったポーランドのボールを奪った田中が、ドリブルからPCを取得。膳棚のドラッグフリックシュートは塞がれるが、リバウンドからPCを再取得。これを膳棚のドラッグフリックシュートのリバウンドを宮崎が合わせ、最後はGKが空中に弾いたボールを山部が押し込み追加点を奪う。ポーランドは第3クォーター終了間際の48分、サークル手前へのパスからサークル進入を試みPCを奪うと、このPCのドラッグフリックシュートをゴール左上に突き刺し、1点を返す。  
 (第4クォーター)  
 48分ポーランドは日本陣内のレフトで反則を奪い、リスタートからドリブルで中央突破すると、ブッシュシュートから同点に追い付く。その後、再三に渡り日本はポーランドゴールに迫るが、GKの好セーブもあり得点を奪えない。すると54分ポーランドはサークル手前からのフリーヒットのチャンスを得ると、ドリブルからPCを取得。このPCのドラッグフリックシュートが、ラインストッパーの足に当たりPSとなる。このPSをゴール左中段に決め、ポーランドが逆転する。日本は残り時間ポーランドゴールに迫るが、このまま試合終了。  
 日本は1試合を通してミスが多く、また全体的にプレスが低く、試合の主導権をなかなか握ることができなかった。プールマッチ第3戦目は20日メキシコと行う。

日本	13	シュート数	7	ポーランド
	6	PC数	7	

次戦(第3戦) 1月20日(火) 9:00 ~ 日本対メキシコ

記載責任者: 男子コーチ 藤原 信幸